

# 達人から学ぶ 今日からあなたもエコライフ

地球温暖化の防止と聞くと、ものすごく遠い世界の話のように思ってしまうませんか？  
実は、とても身近な一歩が、地球を守ることにつながるんです。まずは家計を節約する気持ちで始めてみてください。主役はあなたです。



山本博昭さん 田代地区  
静岡県地球温暖化防止活動推進員。  
温暖化対策地域協議会エコミュー奥大井事務局長。地球を守る戦士エコミューマンとしても活躍。SCCCAインストラクター（大人向け・子ども向け）。  
※SCCCAは、県地球温暖化防止活動推進センターの略。

県での温暖化防止活動など、地域の皆さんに知ってもらいたいという目的で始め、現在は、もっと広い範囲の方に紹介したいと考え、広報かわねほんちようとタイアップして、毎月「地球にイイコトはじめよう」というコーナーを連載しています。

—だんだんと環境保護活動が広がっているように感じられますね。

山本 温暖化対策は一人だけでやっても、なかなか効果が見えてこないものです。また具体的に何をやったら良いのか分からないという面もあります。最初は社会貢献活動として始めた活動でしたが、徐々に地域の皆さんにもご理解いただけるようになり、一緒に取り組んでいくという気持ちで芽生えたように思います。嬉しい限りです。今では寺馬区全体で、環境省が推進する「我が家の環境大臣エコファミリー」の認定を受けるまでになりました。

—その後、どんな活動を進めていったんですか。

山本 地元での活動を推進しながら、昨年にはエコミュー奥大井という官民一体となった地域協議会も誕生し、温暖化対策が全町域に広がり始めたのを実感しています。エコミューは、「ストップ温暖

化大作戦」という国の事業で、静岡県代表にも選ばれました。

—ご家庭では、どんなエコ実践をしているんですか。

山本 例えば、スイッチ式のコンセントタップを使っています。使っていない電化製品のスイッチにランプが点灯していると、つい気になってスイッチを切るという習慣ができました。コンセントを抜き差しするよりずっと手軽ですから、皆さんにもお勧めします。

—エコライフを実践するうえで何か

注意することがありますか。

山本 温暖化防止とかエコライフとか、何か特別なことをやらなければならぬような気がしますが、全然そんなことはないんです。まずは何か一つ「これなら自分にもできる」ことを見つけてください。エコライフは、日常生活の中で、ちよっとしたこと「気づく」ことから始まるんだと私は思います。

約1年間にわたって連載してきました環境のコーナー「地球にイイコトはじめよう」は今回が最終話となります。長らくのご愛読をありがとうございます。山本博昭・広報担当

## エコライフはじめよう

温暖化対策というと、節電などの省エネが一般的ですが、それだけではなく、水を大切に使う、ごみをなるべく出さない、買い物の仕方を工夫する（マイバッグや省包装など）、近くで取れた野菜を買う、そして食べ残しをしないなど、生活のあらゆる場面で色々と取り組めることがあります。何か買う際には、「本当に必要なものか」、買う前にもう一度考えるのもエコの一工夫といえるかもしれませんね。

### 家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明の利用を減らす

家族が別々の部屋で過ごす、暖房も照明もよけいに必要になります。同じ部屋で過ごす、電気代の節約にもなります。



年間約238kgのCO2削減  
年間で約10,400円の節約

### 1日5分間のアイドリングストップを実行

駐車や長時間停車するときは車のエンジンを切りましょう。温室効果ガスの排出削減に効果があります。



年間約39kgのCO2削減  
年間で約1,900円の節約

### 買いもの袋を持ち歩き、省包装の野菜を選ぶ

トレーやラップは家に帰れば、すぐゴミになります。買いもの袋を持ち歩けば、レジ袋を減らすことができます。



年間約58kgのCO2削減  
レジ袋有料化の動きもあります

### ●生ごみ処理容器の購入を補助します

目的：  
家庭及び事業所・団体から出る生ごみの減量を図るため。  
■町内の方が購入した場合…生ごみ処理容器（2個まで）の購入費の60%以内を補助（1個あたり50,000円を限度とする）  
■町内の事業所・団体が購入した場合…生ごみ処理容器（1台まで）の購入費の50%以内を補助（600,000円を限度とする）  
詳しくは本庁町民課 電話（56）2222  
総合支所住民課 電話（58）7070まで。  
購入前に、一度ご相談ください。